

スクールカウンセラー便り No.2

印旛明誠高等学校
スクールカウンセラー



<LGBTQ+：多様性の理解 >

新年度が始まり約2カ月が経ちましたが、新しいクラスメートや先生方には慣れましたか？
そろそろ、人それぞれの様々な個性が少しずつみえてきたのではないのでしょうか。

6月はLGBT（LGBTQ+など様々な表現の仕方があります）の「プライド月間」です。世界各国で、レインボーフラッグ（LGBTを象徴する旗）を掲げながら、LGBTの権利を啓発する様々なイベントやパレードが行われます。

*性的少数者は約10%、カミングアウトしていない人は78.8%という調査もあります。
周囲が知らなくても、1クラスで数人いる割合になります。

*染色体レベルでは、XY：男性、XX：女性だけでなく、非定型が30種類ほどあります。

*同性愛行動をとる動物の種類は、ペンギン、キリン、イルカ、ライオン、トンボなど多数あり、
生殖に結びつく行動のみが適正という考えは、生物学的には誤りです。

*性的指向（どの性を好きになるか、ならないか）、性自認（自分が認識している性別が何か、どちらでない、決めたくない）は、人によって様々な感じ方がありますが、自分の意志で変更することはできません。

*WHO（世界保健機構）やアメリカ精神医学会では、LGBTを疾病枠から削除し、治療対象ではないとしました。LGBTは病気や障害ではありません。



★「異性を好きになるのが当たり前」「男女で分ける」「男らしさ女らしさ」「おかま、ホモ」などは差別につながるので気をつけましょう。1人の人として、その人格を尊重したいですね。

★日本では、国レベルの制度はまだ導入されていません（先日、「LGBT理解増進法」が国会に提出されたばかりです）。学校生活で困ったことや意見、感想などがありましたら、是非伝えに来てください。貴重な意見です！！



★ プチ心理学 ★ 「性同一性障害とは」

出生時に割り当てられた性別とは異なる性の自己意識を持ち、自らの身体的性別に持続的な違和感を覚える状態、という医学用語・診断名です。つまり、生活面や社会面等が機能しない程の苦痛を感じ、ホルモン治療や性別適合手術を希望する場合に診断されます。しかも、その診断はとても慎重にされなければならないので、LGBTの概念とは別になります。

<相談室の利用の仕方>

*生徒の相談時間帯は、昼休みと放課後です。それ以外の時間帯を希望する場合は、担任の先生に相談して下さい（内容は伝えなくてもかまいません）。

*予約が優先になります。保健室前の予約表を見て、予約が入っていない時間帯であれば、ノックをして入室して構いません。

*予約の仕方は、2通りあります。

①担任の先生か保健室の先生（加藤先生）へ申し込む。

②予約表の空いている時間枠に、イニシャルや記号などを書き込む。



*登校できない場合は、電話相談も可能です。

★保護者の方も相談ができます。カウンセラー在室時は、匿名でも構いませんので、相談室に電話をつないでもらって下さい。もしくは、担任や保健室の先生に予約をお願いして下さい。

<6、7、9月の開室予定>変更の場合もありますので、保健室前の予約表を確認して下さい。

6月： 9日（金） 14日（水） 23日（金） 30日（金）

7月： 7日（金） 14日（金）

9月： 1日（金） 8日（金） 15日（金） 22日（金）

★スクールカウンセラーには守秘義務がありますので、安心していらして下さい。

